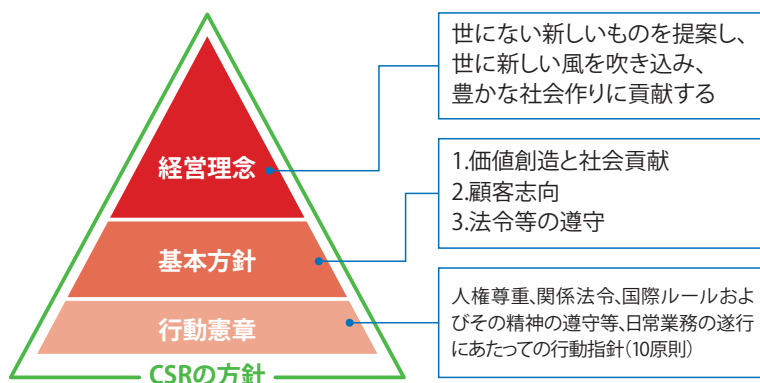


CSRの方針

THKは1971年、世界ではじめて直線運動部の“ころがり化”を実現し、機械要素部品「直動システム」を世に送り出しました。そして現在、本業を通じて社会貢献していくこと、つまりステークホルダーからの信頼を得ながら、経営理念にある“豊かな社会作り”を実現することが当社のCSRであると考えています。

私たちは創業の精神である「経営理念」と職務を遂行する上で遵守すべき「基本方針」、さらに行動の指針である「行動憲章」をそのままCSRの方針として、長期的な企業価値の向上を目指します。



Contents

THK CSRレポート 2017

- 2 CSRの方針
- 3 Contents
- 4 トップメッセージ
- 6 会社概要

特集／様々な分野で活躍するTHK製品

- 9 上下方向の揺れ低減に向けて／三次元免震公開実験に参加して
- 10 分割構造の円弧型「Rガイド」採用で実現した陽子線がん治療装置の小型・高精度化
- 11 産官学連携のイノベーションプログラムで研究の可能性を広げるSEED Solutions
- 12 垂直軸型マグナス風力発電機の実用化に欠かせない低トルクシャフトユニット WLS
- 13 明日の医療を、あらゆる人々に
- 14 消防と防災の要を免震で守る
- 15 免震装置のおかげでシステムへの地震被害が皆無であったため、生産復活活動が大いにはかどりました
- 16 「地震発生時でも検査継続を」の思いから免震装置を導入
- 17 現代の技術でも再現できない貴重な歴史的作品を守る免震装置

マネジメント体制

- 18 2016年度 取り組み実績
- 19 コーポレートガバナンス
- 20 コンプライアンス意識の強化に向けて
- 21 リスクマネジメント・情報セキュリティ

社会との関わり

- 22 お客様とともに
- 23 お客様の声
- 24 株主とともに
- 25 従業員とともに

環境との調和

- 30 環境経営の推進
- 31 環境目標値・環境会計・環境負荷の全体像
- 32 省エネルギー・地球温暖化防止
- 35 省資材・ゼロエミッション
- 36 リスク物質管理
- 37 グリーン物流
- 38 第三者意見
- 39 編集後記

報告期間

2016年4月1日～2017年3月31日までの活動ですが、同期間前後の内容も含めて掲載しています。

報告範囲

THK株式会社、連結子会社(35社)、非連結子会社(1社)、持分法適用会社(1社)。なお、環境セクションの各種データの集計範囲は、別途記載しています。

参考にしたガイドライン

GRI「サステナビリティレポートガイドライン2013(G4)」および環境省「環境報告ガイドライン2012」を参考にしています。

対象読者

お客様、株主・投資家、取引先(協力会社・仕入先)、従業員、行政、地域社会等幅広いステークホルダーを対象としています。なお、THKと各ステークホルダーとの関わり合いの一部を下記にまとめてみました。

関わり合い例

ステークホルダー	関わり合い
お客様	● 日々の営業活動 ● プレスリリースによる情報発信 ● 各国展示会への出展 ● メールマガジンの配信 ● テクニカルサポート運営 ● 各種サポートサイト運営 等
株主・投資家	● 株主総会と併催展示会 ● 決算説明会 ● 投資家説明会 ● アニュアルレポート ● ホームページ上のIRライブラリ、株主向け情報 等
取引先 (協力会社・仕入先)	● 日々の購買活動 ● 環境ガイドライン ● THK会活動 等
従業員	● 社内報 ● 各種教育研修 ● 社員旅行、社員・家族パーティー 等
行政	● 社会保険の届出、税務申告 ● セミナー参加 等
地域社会	● 従業員のボランティア活動 ● 地域清掃活動 ● 講師派遣、工場見学対応 ● 寄付活動 等